

自分に何ができるか—— 答えを見つげにアフリカへ。

国際貢献の道へ

開発途上地域の経済的・社会的発展のために現地の人々と共に活動を行う「青年海外協力隊」は、独立行政法人国際協力機構（JICA）が日本国政府の国際協力の一環として事業を実施している。その平成20年度2次隊として、薬剤師の滝川麻衣さん（27歳）＝宇出津＝がタンザニアに派遣された。

「中学校時代から海外に興味があり、大学3年の時に初めて一人で海外旅行をした」と話す滝川さんは、観光客として海外旅行を繰り返す日々にもむなしさを覚えたという。「その場所で一生懸命生活している人がいる。貧しくても幸せに暮らしている人がいる。飢えや病気に苦しんでいる人がいる。いろいろな人に会って、観光客としての自分は誰の役にも立っていないと感じるようになった」と語る。

その後、世界の情勢を自分で調べるようになった滝川さん。歴史、紛争、貧困、民族問題などを知れば知るほど「恵まれた日本にいても、世界中で苦しんでいる人たちがいることを忘れてたくない」と思うようになり、

国際貢献の道に進むことを決意する。

「とにかく自分の目で見てみないとわからない」と、昨春秋に青年海外協力隊に応募。派遣希望先は『アフリカ』とした。苦難の歴史が長いアフリカの人たちが安心して暮らせる生活を一緒に目指したい」と考えていた。

タンザニアで感染症対策

タンザニア南部のソングエア市に、感染症対策員として2年間の派遣が決まった滝川さん。薬剤師としての知識と技術を生かし、マラリア、結核、HIVなどの感染率低下のために、保健・衛生活動を行う予定だ。

「現地では与えられた任務以外に縛りはなく、日本語や日本の文化を教えている隊員もいる。何をやるかは自分次第。行ってみて自分のやりたいことを探したい」と意気込む。

青年海外協力隊員としての2年間は、国際貢献の道に進むことを決めた滝川さんの最初のステップでもある。「異なる文化に入りながら自分を保ち、コミュニケーション能力を含めて自分がどれだけのことができるか見てみたい。そしていろいろな人に

会って今後の人脈も作っていきたい」と2年間タンザニアで過ごすも一つの目的を語る。

答えを見つげに行く

「薬剤師ではできることが限られる。病気になるないように、教育や基礎的なことにもかかわりたい」と考えている。このまま薬剤師として進むか、それとも一からやり直すかはまだ決まっていないという。

「いずれにしても専門性をもってやる必要がある。自分のやりたいこと、できることが何なのか、その答えを見つげにタンザニアに行く。この2年間で決まる」と力強く語る。

生きることは人とかがわかることだと考えている滝川さん。「人に喜びを与えるのも悲しみを与えるのも人間。わたしは人を笑顔にさせる側に立ちたい」。

2年後の取材を約束した滝川さんは、大きな夢と明るい笑顔を残してタンザニアに出發していった。

ツタオナナ！

（スワヒリ語で「また会いましょう」）



青年海外協力隊員・薬剤師
滝川麻衣さん

たきかわ・まい（27歳）＝宇出津＝

Mai Takikawa

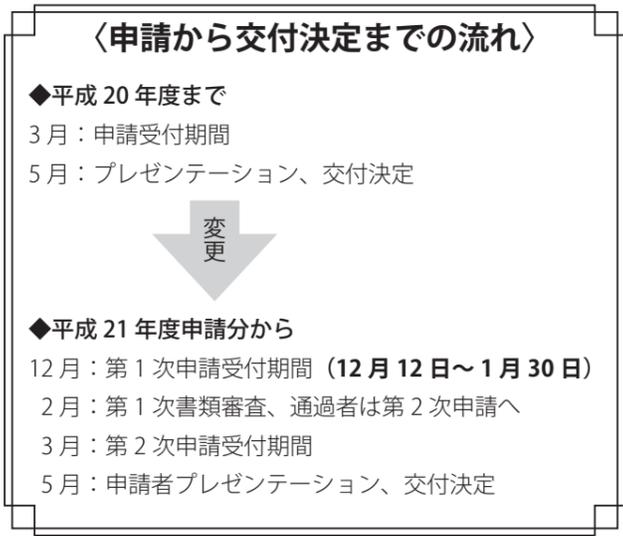


【DATA】

東アフリカ最大の国。アフリカ最高峰のキリマンジャロ（5,895 ㎞）やビクトリア湖を有し、雄大な自然とさまざまな野生動物が見られることで有名。
 国名：タンザニア連合共和国
 面積：約 94 万㎞²（日本の約 2.5 倍）
 人口：約 3,740 万人（アフリカ第 7 位）
 首都：ドドマ
 公用語：スワヒリ語、英語

公益信託エンデバーファンド21 平成21年度 申請受け付け開始

まちづくりのアイデアを資金面で援助する「公益信託エンデバーファンド21」の平成21年度申請受け付けが始まります。今回から書類審査制度を導入し、書類審査を通過した申請が来年5月にプレゼンテーション（企画の説明）を行います。書類審査の記入事項はそれほど多くはありませんので、気軽に申請することができます。



〈申請書交付場所〉 興能信用金庫本店、各支店
 〈問い合わせ・相談窓口〉 興能信用金庫本店 ☎ 62-1122
 役場企画財政課 ☎ 62-8503



**能登町で
公開録画決定！**

能登町とNHK金沢放送局では、能登半島地震復興を支援するために毎週金曜日午後8時からNHK総合で放送されている「金とく」の公開録画を実施します。観覧を希望する人は、下記のとおり申し込みをしてください。

番組名 能登半島地震復興支援「金とく あなたの町に参ります～出前コンサート～」公開録画
日時 平成21年1月15日(木)
 開場 14:00、開演 14:30、終演 16:00 ごろ
会場 役場能都庁舎4階大集会場
出演 小林幸子さん、堀内孝雄さん
応募方法 入場は無料ですが、入場整理券が必要です。観覧を希望する人は郵便往復はがきに必要事項を記入し、申し込みください。
【往信表面】 〒920-8644（住所不要）NHK金沢放送局「金とく出前コンサート」係
【往信裏面】 応募者の郵便番号、住所、氏名、電話番号
【返信表面】 応募者の郵便番号、住所、氏名
【返信裏面】 記載不要（抽選結果を印刷します）
【応募締切】 平成20年12月22日(月)必着
 ※応募者多数の場合は抽選の上、入場整理券（1枚で2人まで入場可）が送られてきます。当選は1人1通です。
 ※応募の際にいただいた個人情報は、抽選結果の連絡のほか、受信料のお願いに使用させていただく場合があります。
☑ NHK金沢放送局「金とく出前コンサート」係
 ☎ 076-264-7030（平日10:00～19:00）

秋の叙勲

国や社会への長年の功労あるいは社会の各分野における優れた行いに対して国家が個人を顕彰する栄典には、褒章と勲章があります。11月3日付けで発表された「秋の叙勲」では、その功績に対し能登町から2人が選ばれ、栄えある受章となりました。

旭日双光章
 やまもと けん
山本 研さん（太田原）



昭和55年、43歳で町議会議員に初当選。以来26年6カ月の長きにわたり地方自治発展に寄与した山本研さん(72歳)。地域住民からの厚い信頼を受け「地域の声を町政に」を実践し続けました。平成12年から14年まで議長を務めるなど、今日の能登町誕生にも尽力しました。「これまでも、これからも広く人と交わって知恵を出し合い、地元振興に貢献していきたい」と語る山本さんの笑顔は、故郷への愛情にあふれています。

瑞宝単光章
 こばやし かずお
小林 一雄さん（柿生）



小林一雄さん(73歳)は、昭和34年から46年間、消防団員として活動し平成3年には山田分団長、また7年からは旧能都町消防団副団長として任務を遂行しました。「皆さんの支えのおかげです」と喜びを語る小林さんは、その判断力や指揮能力から団員の大きな信頼を得ていました。「今でもサイレンが鳴ると気持ちが走ります。今後もできる限り協力して恩返しをしていきたい」と話す心には、熱い消防魂が今も存在しています。



**環境大臣表彰
伝達式**
 やました かつお
山下 勝男さん

30年以上にわたり町内の一般廃棄物収集運搬に従事し、生活環境保全推進に貢献したとして山下勝男さん(70歳)＝国光＝が環境大臣表彰を受賞しました。伝達を受けた山下さんは「この仕事に誇りを持っています。健康で続けられたことがうれしいです」と受賞の喜びを語りました。



**灯台記念日
感謝状授与式**
 ふじたに まさのぶ
藤谷 政信さん

11月1日の灯台記念日に合わせ、海の安全を守るために尽力した個人に対して全国的に表彰が行われています。海上保安庁の業務である灯台の監視に15年間にわたり協力した藤谷政信さん(61歳)＝鶴川＝に感謝状が贈られ、その伝達式が11月6日に能都庁舎で行われました。

議 会

第3回 臨時会

第3回能登町議会臨時会が10月30日に招集されました。会期を1日とし議案2件が上程、原案のとおり可決されました。また、議会運営委員会、各常任委員会委員の任期満了に伴い、新しく委員が選任されました。

- 可決された議案
 - ・新たに生じた土地の確認について
 - ・字及び小字の区域の変更に ついて
 - 埠頭（ふとう）用地として石川県が埋め立て、管理している宇出津港内の地先公有水面100・91㎡の確認と変更。
- 議会組織の変更

議会組織が次のとおり変更となりました。

 - 議会運営委員会
 - 委員長 大谷内義一
 - 副委員長 宮田勝三
 - 委員 久田良平、鍛冶谷眞一、山本一朗、向峠茂人
 - 総務常任委員会
 - 委員長 菊田俊夫
 - 副委員長 酒元法子
 - 委員 山崎元英、新平悠紀夫、山本一朗、向峠茂人
 - 教育民生常任委員会
 - 委員長 奥成壮三郎
 - 副委員長 南 正晴
 - 委員 石井良明、久田良平、宮田勝三、奥野 清、椿原安弘
 - 産業建設常任委員会
 - 委員長 河田信彰
 - 副委員長 鶴野幸一郎
 - 委員 大谷内義一、多田喜一郎、鍛冶谷眞一、石岡安雄、志幸松栄
 - 決算特別委員会
 - 酒元法子議員の辞任により、新たに南正晴議員が選任されました。

第106回久田船長碑前祭
郷土が生んだ英雄を語り伝える

明治36年10月29日、青函連絡船「東海丸」の船長として、多くの乗員乗客の命を救って殉職した久田佐助船長。その勇気ある行動をたたえ、語り伝えようと毎年命日の日に久田船長顕彰会と鶴川公民館が共同で開催する碑前祭は、今年で106回目を迎えました。この日は雨のため公民館での開催となりましたが、式典には鶴川小学校5・6年生、鶴川中学校の1年生、地元住民など約80人が参列しました。神事のあと、小学5年生代表による国定教科書の朗読や唱歌の全員合唱などが行われ、参列者は郷土が生んだ英雄に思いをはせていました。



玉ぐしをささげる鶴川中学校1年の清水寛生さん

メモリアルストーンを配置した柳田小学校3年生



北河内ダム 最終コンクリート打設式
北河内ダムに埋めた記念の石

石川県が進める町野川総合開発事業、北河内ダム建設工事のダム堤体工事コンクリート最終打設式が11月18日に行われました。式典には、工事関係者のほかに、地元五十里、北河内地区の皆さん、柳田小学校3年生など約80人が参加し、ここまで順調に進んでいる工事の区切りとなる最終コンクリート打設を祝い、今後の安全を誓いました。

最終打設の場所には、柳田小学校児童がメッセージや絵を描いたメモリアルストーンが投入され、8万立方メートルに及ぶコンクリートと一緒にダム本体の一部となりました。

政所利子さんのコーディネートにより事例発表する代表者たち

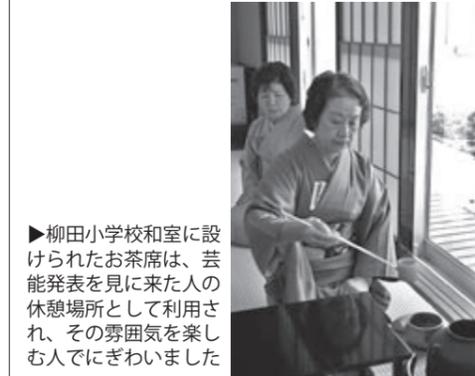


全国過疎問題シンポジウム 2008
春蘭の里で全国の優良事例発表

過疎に悩む全国各地の市町村が集まり議論を深める「全国過疎問題シンポジウム 2008in いしかわ」が、10月22日から3日間にわたり能登地方の各地を会場に開催されました。

能登町では、宮地交流宿泊所「こぶし」で分科会が開かれ、本年度、過疎地域自立活性化優良事例表彰を受賞した4団体が活動を紹介。このうち、会長賞を受賞した大分県の(株)夢のぼり工房は、地元で採れる5種類の豆などを炊き込んだ「お宝めし」が地域で150世帯もの豆栽培契約農家を生み出すなどの経済波及効果をもたらしていることを報告しました。

第4回能登町民文化祭
人生を彩る文化、華やかに



▶柳田小学校和室に設けられたお茶席は、芸能発表を見に来た人の休憩場所として利用され、その雰囲気を楽しむ人でにぎわいました

4回目を迎えた能登町民文化祭が11月2日、3日の2日間にわたって開催されました。昨年に引き続き柳田地区を主会場に開催され、芸能部門は柳田小学校、芸術部門は柳田体育館で、それぞれ文化協会員らが日ごろの練習の成果や自慢の作品を披露しました。2日に行われた芸能発表では、町文化協会の高木泰憲会長が「明るく楽しい地域活動として、芸能や芸術を見てください」とあいさつし、ステージでは舞踊やコーラス、大正琴などが次々に披露されました。芸術部門には約400人以上が作品を展示し、訪れた人からは「全部見るだけでも大変なほど、本当に見応えがある」という声も聞かれました。

小木小学校1日消防士体験
実体験から防火の心を育てよう

秋の全国火災予防運動に合わせ、11月5日に小木小学校の児童を対象に避難訓練と1日消防士体験が行われました。これは消防士の仕事や火の取り扱い方について学んでもらおうと、小木分団と能登消防署内浦分署が協力して開いたものです。

はじめに訓練についての説明を受けたあと、5・6年生の児童を対象に、実際に火を消火器で消す作業や、防火衣を着た放水、バケツリレーなどが行われました。また、火災時の煙の様子がわかる「煙体験ハウス」で煙の猛威を体感するなど、火災の恐怖と防火活動の大切さについて考える1日となりました。



水の勢いに負けないよう力を込めてホースを握る

大人相手に堂々と張り合う折坂君



ごいたビギナー＆青壮年大会
ごいたで広がる世代間交流の輪

宇出津地区に伝わる伝承娯楽で町の文化財にも指定されている「ごいた」は保存会が精力的に普及・保存活動を行っています。

10月26日、ごいた保存会は、若い世代への普及を目的に「ごいたビギナー＆青壮年大会」を開催しました。大会には小学生を含む20人が参加。洲崎一男保存会長は「小学生も参加してびっくりしている。楽しみながら腕を磨いてほしい」とあいさつしました。熱戦が繰り広げられた大会結果は、宇出津小学校5年の折坂和希君と広田茂さん(40歳)ペアが優勝。大会参加者や保存会員は、折坂君の実力に舌を巻いていました。



交通の妨げにならないように注意しながらの作業